

～もりもり勉強 とっても元気 みんな仲良し やろうよ宝積～

令和8年度  
号外

令和8年9月1日

# 本宮日記



盛岡市立本宮小学校  
盛岡市本宮 2-25-1  
電話 636-0249

校訓 「宝積」 ～人に尽くして見返りを求めない～

## 「まなびフェスト」を意識した生活を！

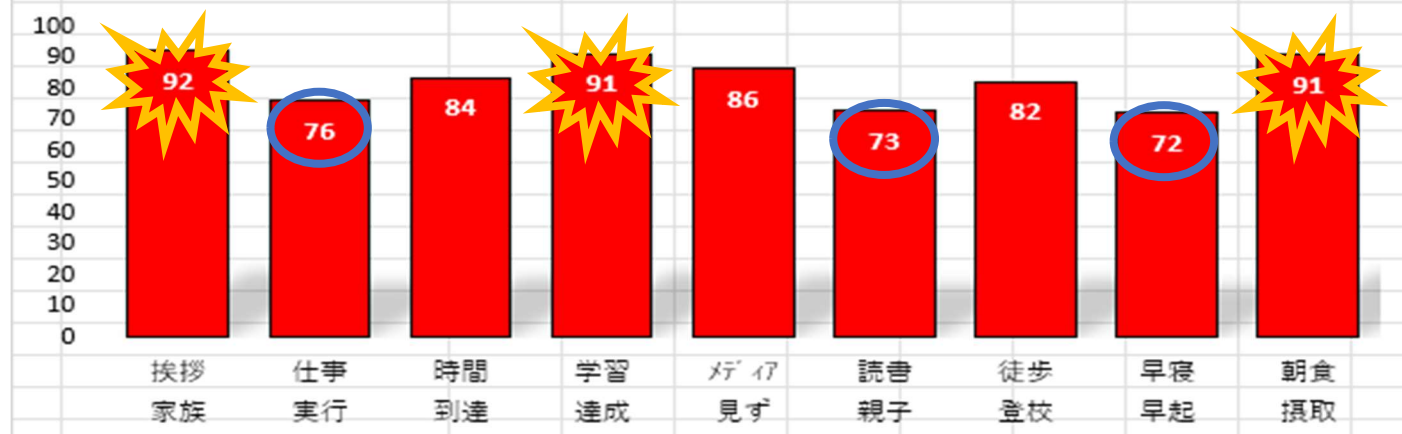
大宮中学校のテスト期間と合わせながら、1学期に家庭学習強化週間として「まなびフェスト」を各ご家庭でチェックしていただきました。今年度も高学年は陸上記録会練習と重なってしまいましたが、少しでも「まなびフェスト」を意識した暮らしができるよう、多くのご家庭で熱心に取り組んでいただきました。ご協力誠にありがとうございました。初めてチェックカードに取り組んだ1年生も、素晴らしい取組結果でした。

年間を通して、本宮小学校の学校教育目標「あかるく かしく たくましく」に向かって、学校・ご家庭・地域の皆様と連携して子どもたちを育てていきたいと思っております。今回の結果をふまえて、今後の学校生活、11月の「第2回家庭学習強化週間」につなげていきたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

チェックカード提出率 **94.4%**！  
多くのご家庭にご協力いただきました。  
ありがとうございます。

### R08 1期まなびフェスト達成率

7日間で5日以上◎(読書1日,徒歩登校4日)



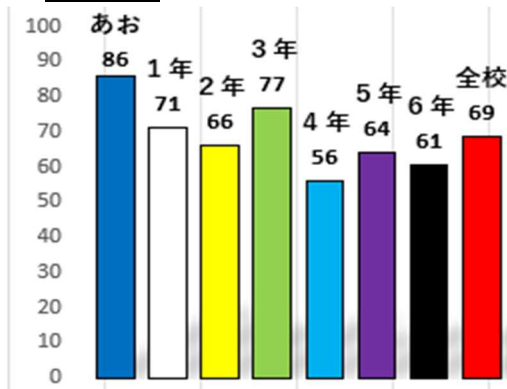
昨年度同様「家族で明るい挨拶」「今日やる学習」ができた」「バランスよく朝ご飯」の達成率が非常に高いものとなりました。挨拶は学校でも力を入れている取組の1つです。家庭にも広がっていることがとても嬉しく感じます。さらに家庭学習・朝ご飯とご家庭でのご協力が必要不可欠な基礎的部分の達成率が高い結果となりました。ご家庭でのご協力の賜物です。ありがとうございます。

一方、こちらも昨年度同様、課題として見られたのが「自分の仕事」「親子読書」「早寝早起き」の3項目でした。ただ、課題となっている部分が毎年恒例となっているのであればむしろ話が早い、ピンポイントで力を入れていけばいいのだと思います。次回11月12日(木)～18日(水)までの「まなびフェスト強化週間」で重点的に意識していきましょう。チェックカードも「手伝い」「読書」「早寝早起き」がんばろうバージョンにしておきます！

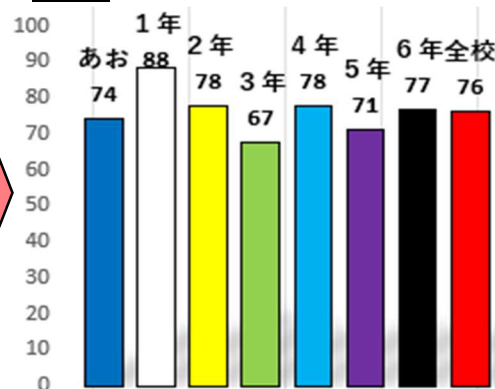
さて、前年度はこれらの課題の中で「親子読書」と「早寝早起き」にスポットを当てて分析しました。よって今回は「自分の仕事」ができた(お手伝い)について考えていこうと思います。

# お手伝いは「成果」ではなく「存在」に賞賛を

【昨年度11月お手伝い結果】



【今回6月お手伝い結果】



今回課題として出された「お手伝い」ですが、実は結果を経年比較すると成長しているのです。左のグラフをご覧ください。

注目する点は高学

年の頑張りです。昨年度の11月と今年度の6月の比較ですので、例えば昨年4年生だった子どもたちは、お手伝い5日以上達成が56%。それが今年度5年生に進級すると71%と15%増加したということになります。同様に今年度6年生も13%増加しております。未来はとても明るいのです。

ただ、全体的にもうちょっと頑張らせたいのが本音ということで…。ではどうやってお手伝いができるようになるのか考えてみました。私たち教師としては、授業中ではない当番や係活動において意識していることは、ズバリ『共同体感覚』というものです。「よくできたね」とほめるのではなく、「うわぁ助かったぁ〜、ありがとう」と感謝を伝えます。人に与えること、助け喜ばせることが自分自身の喜びになることで、自ら進んで貢献を繰り返すようになるのだそうです。美しいですね。

ですから、お手伝いに成果は求めません。作業ハードルは徹底的に下げ、作業時間も3分以内。指示は具体的に（部屋片づけて→本を本棚に戻して）決して物や金で釣ることなく、完璧も求めないのでやり直させない。ただただ、いてくれた・やってくれたこと、あなたの存在に価値をおきます。

いかがでしょうか。参考にいただけると、なによりです。

## おうちの方からのコメントをご紹介します

子どもたちにあたたかい励ましのコメントをたくさんいただきました。11月の取組に向けて、より意識が高まるよう、ご家庭の皆様のご協力よろしくお願いします。



早寝・早起きを特に意識して取り組んでいる姿がみられた。

こちら本人の行動に刺激されて、家族みんなで取り組むことができた。

ご飯の支度の手伝いをしてもらいました。『レストラン』という設定で声をかけると自分で考えて家族一人ひとりにあった用意をしてくれました。毎日とても楽しく、これからも『レストラン』を続けてほしいです。

この機会に子どもと一緒に歩いて登校してみました。歩くスピードや友達同士の会話など新しい一面を知るきっかけになりました。子どもを送り届けた帰り道、児童たち自ら元気に「おはようございます」とあいさつをされ、本小のよいところだと感じました。また一緒に歩いて登校しようと思いました。

夕飯のおかず作りを手伝ったり、茶わんへのご飯をもってくれたりと積極的に行ってくれました。

早寝・早起きの『早寝』のところを自分で、時間を意識して、生活できるようになるといいなと思いました。

文責：宇塚